

基本方針3 「くらしやすい“藤島”を実感できる生活基盤の再構築」

この地域に住みたいと思えるような「くらしやすい“藤島”」を実感できる生活基盤の再構築に向けて、交通環境の広域ネットワーク化の促進や、新たな産業集積を目指す取り組みを地域として推進するとともに、特に若者世代から選ばれる地域を目指した住環境の整備や子育て環境の充実を図っていきます。

また、高齢者が社会参画しやすく、いきいきと充実した生活を送れるような仕組み作りやコミュニティ防災の強化などにも取り組みます。

具体的な展開方策（1） 自立分散型インフラ整備の推進 【着眼点との整合：コンパクト+ネットワークによる自立分散型社会の実現】

藤島地域の人口減少率が、市の平均よりも高くなっています。その要因の一つとして、産業の基盤となる広域ネットワーク道路網整備、工業団地等開発、住宅地及び公共交通の確保が挙げられます。地域内の自立分散型のインフラ整備を進め、定住人口の維持及びU I ターンの促進を図ります。

○主な施策

①高速交通に対応する広域ネットワークの整備促進

鶴岡藤島間道路の名称を鶴岡新庄連絡道路(仮称)と改称して庄内南部の中心都市である鶴岡市と、最上の中心都市である新庄市を最短で結ぶことで、高速交通に直結する広域ネットワークとして地域経済に大きく貢献していくことを積極的にアピールし、整備実現に向けた取り組みを展開していきます。

また、これまでの同盟会事業に加え、新たな道路建設の啓発看板などを設置することで、近隣自治体や住民の機運を盛り上げ、共に連携をとりながら研修会などの事業も展開していきます。

②商工業振興を図る産業基盤整備の実現

藤島市街地については、これまでも市街化区域や農業振興地域の土地利用計画に従い、行政が適切な開発や誘導を行い、良好な土地利用推進が図られてきました。今後、産業構造の変化に対応する工業団地や商業地の供給については、市街化区域の中に開発許容地が存在しているが、その基盤である区画道路や排水環境のための造成、面的排水施設などが未整備であるため、それらの調査と実施の検討を行っていきます。

③定住を支援する住環境等の整備

地域振興の人材、人口を確保していくためには、定住環境の整備が重要であり、宅地供給などの支援に取り組みます。

整備に際しては、市街地に留まらず地域全体を俯瞰して、地域全体の均衡ある発展に寄与するための方策の検討を行います。加えて、市街化区域内の低未利用地の開発と近年増加している空き家の利活用も検討していきます。

④公共交通空白地域の解消

公共交通空白地域の解消に向け、地域公共交通のあり方などを調査・研究し地域のニーズを反映した住民が利用しやすい仕組みを地域と協働で検討します。

○具体的事業

| 事業名 | 主な内容 | 区分 | 未来事業の選択 |
|--------------------------|----------------------------------|----|---------|
| ①高速交通に対応する広域ネットワーク整備促進事業 | ・鶴岡・新庄道路へ名称変更 ・啓発看板の設置 | 拡充 | ○ |
| ②商工業振興を図る産業基盤整備事業 | ・工業団地の拡大 ・流通団地開発、道路整備 | 新規 | ○ |
| ③定住支援住環境等整備事業 | 宅地供給への取り組み | 新規 | ○ |
| ④長沼・八栄島地区地域公共交通導入事業 | 交通システム導入に向けた調査委託、視察、試験運行、体制の確立など | 新規 | ○ |

具体的な展開方策（2） 子育て世代から選ばれるための支援の充実 【着眼点との整合：若者・子育て世代、高齢者、障害者に配慮し、誰もが活躍できる地域社会の構築】

子育て世代から藤島地域を定住先として積極的に選択してもらうための施策として何が効果的であるかを検討していきます。

また、少子化の進展と施設の老朽化が同時進行していることから、より費用対効果の高い保育園・児童館の修繕または整備方法を検討します。

○主な施策

①「子育て世代応援地域」の実現

藤島地域全体もしくはその一部地区を「子育て世代応援地域」と位置付け、子育て世代のニーズに対応する効果的な支援策を検討します。

②子育て支援施設・体制整備の検討

中学校の改築を含む「文厚エリア」の再整備も視野に入れつつ、児童数の動向を見据えて、現体制の抜本的な見直しの可能性も排除することなく、保育園・児童館の施設体制の再構築に向けて行政、指定管理者のみならず、多方面から意見を聴取し検討していきます。

○具体的事業

| 事業名 | 主な内容 | 区分 | 未来事業の選択 |
|-------------------|---------------------|----|---------|
| ①「子育て世代応援地域」モデル事業 | 子育て世代への支援策の検証 | 新規 | |
| ②子育て支援施設・体制整備事業 | 子育て支援施設の再整備に向けた調査検討 | 新規 | |

具体的な展開方策（3） 健康でいきいきと暮らせるしくみづくり **【着眼点との整合：若者・子育て世代、高齢者、障害者に配慮し、誰もが活躍できる地域社会の構築】**

誰もが身近で取り組みやすい「ウォーキング」などを取り入れ、市民が手軽に楽しみながら運動できるしくみの提供を検討します。

また、高齢者が生きがいを持って暮らし続けられるよう、社会参加の促進を図るための支援を行います。

○主な施策

①「歩こう・貯めよう」ヘルスマイレージの導入
 藤島歴史公園や地域内の遊歩道などの利活用を通じて、ウォーキングによる健康づくりを推進するとともに、ポイント制による地域資源の循環利用を図る仕組みを導入します。

②高齢者を対象とする住民自主活動の支援
 「高齢者住民自主活動支援事業補助金」を創設し、自治振興会等が実施する高齢者の社会参加や介護予防等に資する事業に対し、支援を行います。

③藤島ふれあいセンターの利活用策の再構築
 元町地区を対象としたアンケート調査の結果や、現在実施している庄内農業高校との連携事業を踏まえ、専門家による指導助言や先行事例を参考とし、買い物弱者対策と施設の更なる有効活用について、効果的な方策を検討・実施します。

④生涯スポーツの推進
 高齢者が気軽に行えるスポーツとして人気のあるグラウンド・ゴルフ等の生涯スポーツを推進し、市民が健康に留意し、無理なく楽しくスポーツに打ち込める環境の整備を図ります。

○具体的事業

| 事業名 | 主な内容 | 区分 | 未来事業の選択 |
|----------------|--|-------|---------|
| ①ヘルスマイレージ導入事業 | ウォーキングをすることでポイントが貯まる健康づくり | 新規 | ○ |
| ②高齢者住民自主活動支援事業 | いきいき百歳体操スタート補助(イス購入費用補助)、高齢者の交流活動支援や交通支援 | 新規 | ○ |
| ③ふれあいセンター活性化事業 | 買い物弱者への取組み、ふれあいセンターの利活用 | 新規 | ○ |
| ④グラウンドゴルフ場整備事業 | グラウンドゴルフ場の芝整備の充実 | スポーツ課 | |

具体的な展開方策（4） 地域の防災力の強化

藤島地域は、庄内平野東縁断層帯に位置し、また藤島川と京田川の二つの河川が貫流する地理的な特性から大雨による河川氾濫が頻発しており、一層の防災機能の強化を図る必要があります。

今後は災害に強いまちづくりを推進するため、共助の基本である自主防災会運営の強化と二次避難所となっている地域活動センター等の整備、訓練の実施、避難計画の策定などを支援し、地域防災力の充実に努めます。

○主な施策

①自主防災会の育成支援
 自主防災会活動については、地域内全体の自主防災力の強化を図るため、先駆的な取組みを行なっている町内会をモデルに自治振興会と連携協力のもと、各自主防災会での防災訓練の実施、また高齢者等避難困難者等を考慮した避難計画策定と防災資機材整備を支援します。

②地域防災拠点の機能充実
 災害時の的確・迅速な対応と防災基盤強化を図るため、二次避難所となる地域活動センターの設備整備と住民の安全確保及び安全・安心なまちづくりを確立するための防災ネットワークのモデル事業を推進します。

○具体的事業

| 事業名 | 主な内容 | 区分 | 未来事業の選択 |
|--------------|---|----|---------|
| ①自主防災会育成支援事業 | 避難訓練の実施、自主防災組織への資機材費補助 | 新規 | ○ |
| ②地域防災拠点整備事業 | 東栄活動センターのエアコン設置、藤島地区防災ネットワークモデル事業、各活動センターへの資機材庫整備 | 新規 | ○ |



開発余地が無くなった状況の現在の工業団地
 今後は更に産業構造変化への対応として企業等への雇用が求められる。



すこやか講演会
 妊婦、1～3か月の乳児の保護者が、発達を促す体の動きを学び育児不安の解消の場としている。



市民の自主活動による介護予防事業の開催支援
 介護予防効果が高い「いきいき百歳体操」を、町内会等のより通しやすい単位で実施できるよう支援する。



藤島地域総合防災訓練
 渡前地域活動センターにて、避難所開設訓練